

AES日本支部・日本学生支部便り

2023年冬号



【共同発行】

AES日本支部

〒105-0003 東京都港区西新橋3-24-10 Tel: 050-5534-0993

公式ホームページ <https://aes-japan.org/wordpress/>

AES日本学生支部

公式ホームページ <https://japan.aes-student.org/wordpress/>

支部長挨拶	2
2023年度 AES日本支部 運営委員体制	3
2023年度 事業計画	4
日本支部基礎音響セミナーのご報告	5
例会の活動について	6
日本学生支部 支部長挨拶	10
日本学生支部の活動について	11
AES日本支部 70周年記念パーティー 開催報告	14
編集後記	20


支部長挨拶

AES日本支部 支部長 星和磨（日本大学）

2024年元旦に能登で大変大きな地震が発生しました。被災された会員のみなさまへ心よりお見舞い申し上げます。このような事態を目のあたりにしたとき、同じ時間を過ごす人間としてなにかできないかとやきもきしてしまいます。しかし直接的な援助は、よほどの人脈やルートがないと難しいでしょう。私たちオーディオ技術者が直接的に援助できることは少ないかもしれませんが、日々取り組んでいる技術開発やコンテンツ制作などが、きっといつかどこかで被災された方の心の癒やしや次への活力につながると信じて、精進していくことが肝要だろうと思っております。



さて、AES日本支部は昨年の10月に70周年記念パーティーを催しました。これまでの歴史を振り返りながら、次を担う世代へ繋ぐことをテーマに100名の参加者と語りました。みなさまがこれまでAESと関わる期間はさまざまかと思いますが、その思いが繋がり70年の歴史を刻むことができました。あらためて感謝申し上げます。今後も例会や懇親会などは定期的に、また基礎音響セミナーなども企画していきますので、引き続き情報収集および情報交換の場としてご活用くださいますようお願い申し上げます。

また今年は、来たる4月27日から30日に、東京藝術大学で2024 AES 6th international conference on audio for games（ゲームオーディオに関する国際カンファレンス、染谷和孝氏、佐藤えり沙氏、Steve Marts氏が議長）が開催されます。ゲームオーディオと冠していますが、インタラクティブサウンド、リモートワークのためのサウンド制作テクニック、オーディオのための機械学習・ディープラーニング・人工知能など、幅広い分野について話し合われます。現在、基調講演2件、スペシャルセッション4件（以上は同時通訳を予定）、さらには17件のワークショップ、25件の技術発表が企画されています。また事前受付も開始されました。オーディオ技術の世界的な広がりや体感・情報収集していただける絶好の機会ですので、日本支部会員のみなさまにおきましては奮ってご参加いただきますようお願い申し上げます。（公式HP：）

さらに昨年11月、日本学生支部は学生会員みずからが企画・運営し、コロナ禍後始めて対面で「若手・学生のためのAESジャパンフォーラム2023」を開催しました。詳しくはこのあとの学生支部報告をご覧ください。この流れを続けるべく、また会員のみなさま、賛助会員のみなさまとAES日本学生支部との距離が縮まるように、AES日本支部とAES日本学生支部との間でスムーズな連携がとれる体制を築いていきたいと考えております。

コロナ禍を経て、会員、賛助会員のみなさまがAES日本支部に思うところもあろうかと思えます。今後ともAES日本支部にご理解とご支援、また積極的な参加とご意見いただけましたら幸いです。

2023年度 AES日本支部 運営委員体制

	2023年度（2023年9月～2024年8月）	
	2年	1年
支部長		星 和磨
副支部長		中澤 哲矢
監事	内村 和嗣	山崎 淳
運営担当	菅野 重信	高橋 宏幸
例会担当	染谷 和孝 嶋田 美穂	長江 和哉 岸 智也
例会サポート	菅野 重信 重富 千佳子 中川原 修 山崎 淳	
会員担当	中川原 修 小野 良太	岡田 詞朗
会計担当	小谷野 進司	中原 雅考
広報担当	小野 一穂	三村 将之 土倉 律子
教育担当	丸井 淳史 渡邊 祐子	尾本 章 重富 千佳子
渉外担当	亀川 徹	河原 一彦
事務局	佐藤 えり沙	見上 陽一郎
アドバイザー	西村 明 由雄 淳一	鈴木 弘明

2023年度 事業計画

1. 会議

- ・ 定期総会, 運営委員会等

2. 事業

- ・ AES日本支部70周年記念の実施 (10月15日, 東京プリンスホテル)
- ・ 国際ゲームコンファレンス (4月27~29日, 東京藝術大学千住キャンパス) のサポート
- ・ AES基礎音響セミナーの開催
- ・ AES日本学生支部主催AESジャパンフォーラムのサポート

3. 支部体制の充実と効率化

- ・ 支部会員向けのサービスの拡充 (例会の多様化に対応, 例会サポートの設置)
- ・ 賛助企業向けサービスの拡充 (イベント等との連携)
- ・ 新会員の獲得とアソシエイト会員からフルメンバー会員への移行促進

4. 会員情報の管理と会員への連絡

- ・ さまざまな形態に対応した例会の開催と例会スタッフの負担分散
- ・ WEBを活用した会員更新手続きの利便性の向上を図る

5. 例会

- ・ 見学会・講演会を主体として, 計4回から6回程度開催予定
- ・ 外部イベントとの連携も視野に入れ幅広い内容を図る
- ・ 地方開催の推進

6. 懇親会

- ・ 2回 (2023年10月, 2024年5-6月)

以上

日本支部基礎音響セミナーのご報告

AES日本支部 教育担当 尾本章 (九州大学) 重富千佳子 (日本音響エンジニアリング)
丸井淳史 (東京藝術大学) 渡邊祐子 (東京電機大学)

2023年9月23日 (土・祝)、24日 (日) の2日間にわたり、第14回目の「AES基礎音響セミナー」を開催いたしました。2020年以降、3回にわたってオンライン開催を続けてまいりましたが、2023年については対面開催とすることができました。

それぞれの分野において第一線で活躍しているプロフェッショナルを講師として迎え、基礎的な音響学、電気音響、トランスデューサ、室内音響学、デジタル信号処理、録音基礎など、オーディオに関わる幅広い内容の講義がおこなわれました。体験中心である「ステレオ録音実習」については、人数制限を設けつつも4年ぶりに再び実施することができるようになりました。対面での開催においては十分に広い空間を用意しつつ、特に大きな問題なくセミナーを実施することができました。

参加者の利便性向上のため、テキストは電子的に配布するとともに、諸々の経費削減をはかり、会員の皆様には以前よりも安価な参加費といたしました。参加登録者数は37名 (一般21名、学生13名、非会員3名、うち新規会員4名) でした。AES会員は早期登録ができるようにするなどの対応もいたしました。

残念ながら予定されていた懇親会は開催できませんでしたが、次回以降の基礎音響セミナーでは、講師の皆様と参加者とがざっくばらんに会話できる機会を設けたいと考えております。会員の皆様におかれましては、ぜひ次回以降の基礎音響セミナーを最新の知見の学習や知識のブラッシュアップにご活用いただければと思います。

<セミナー概要>

(※はオンライン実施/記録映像上映)

初級講座

A1. 音の基礎	星和磨 (日本大学)
A2. 聴覚と音知覚の基礎	西村明 (東京情報大学) ※
A3. 電気音響の基礎	田村良隆 (イーエーテック)
A4. デジタル信号処理の基礎	渡邊祐子 (東京電機大学)

中級講座

B1. 室内音響入門	中原雅考 (ソナ/オンフューチャー)
B2. スピーカ入門	小谷野進司 (KOYANO Sound Lab.)
B3. マイクロホン入門	小野一穂 (NHK財団)
B4. ステレオ録音入門	亀川徹 (東京藝術大学)
B5. 音の心理評価入門	丸井淳史 (東京藝術大学)
B6. 実用デジタルオーディオプロセッシング	鈴木久晴 (エヴィクサー)

特別講座

C. 技術英語入門	鈴木弘明 (MQA/ソナ) ※
-----------	-----------------

例会の活動について

AES日本支部 例会担当 長江 和哉（名古屋芸術大学）

例会はこれまでも、AES日本支部会員の皆様に「音響に関する最新技術」や「各メディアの音響制作」をテーマとした講演や設備見学会の実施など、オーディオに関する様々な情報を提供することを目的に活動を進めて参りました。コロナ禍が明けた23年度は、zoomウェビナー形式のオンライン例会に加えて対面での例会も再開し、毎回多くの皆様にご参加を頂きまして心より御礼申し上げます。

本年度はポストコロナとして、オンラインと対面を組み合わせたハイブリッド例会も開催することができました。やはり対面での質疑応答やソーシャルアワーでの意見・情報交換は、とても有意義な時間となり、多くの参加者の皆さんに喜んで頂きました。今後もテーマに基づいて、日本支部会員の皆様に広くご参加頂けますように、対面とオンラインの選択をしながら例会を進めて参りたいと思います。今後ともご参加とご支援のほどをどうぞ宜しくお願い申し上げます。

例会後、参加された皆様にご回答をお願いしております「アンケート」には、貴重なご意見を多数頂いており、今後の例会テーマの参考にさせて頂いております。是非今後ともアンケートにはご協力をお願いしたく存じます。引き続きオーディオ技術や業界の発展に向けた有益な情報を会員の皆様にお届けできますように活動を進めて参ります。これからも皆様のご理解とご協力を賜りますよう、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

<2023年 実施報告>

	開催日	開催方法	テーマ・講演者	参加者数
3月例会	3月23日 (木)	Zoom ウェビナー	株式会社カプコンbitMASTERstudio オンラインテクニカルツアー 瀧本 和也 氏 (株式会社カプコンサウンドプロダクション室 シニアサウンドエンジニア) 中原 雅考 氏 (株式会社ソナ 専務取締役) 土倉 律子 氏 (株式会社ソナ 設計技術部)	44名
6月例会	6月2日 (金)	Zoom ウェビナー	ドイツの音楽録音教育について 金井 哲郎 氏 (デトモルト音楽大学 大学院学生) 杉浦 真太郎 氏 (ベルリン芸術大学 卒業生) ハンネス・バイヤー 氏 (ベルリン芸術大学 学生 東京芸術大学 留学生) コーネリア・ツォーラー 氏 (デトモルト音楽大学 学生 名古屋芸術大学 留学生) 武石 智仁 氏 (名古屋芸術大学 卒業生) 亀川 徹 氏 (東京芸術大学)	43名

7 月 例 会	7月7日 (金)	Zoom ウェビナー	AES Europe 2023 コンベンションレポート 亀川徹氏(東京藝術大学)	20名
		対面 (東京藝術 大学 千住 キャンパス 1階 第一講 義室)	河原 一彦氏(九州大学)	20名
		その他	ソーシャルアワー開催	18名
9 月 例 会	9月8日 (金)	Zoomウェ ビナー	4πサンプリングリバーブ技術「VSVerb」の解説とその活用例 「ONKIO Acoustics」の紹介	28名
		対面 (音響 ハウス 第3 スタジオ)	中原雅考氏 (オンフューチャー / ソナ) 山崎淳氏 (タックシステム) 田中誠記氏 (音響ハウス) 中内茂治氏 (音響ハウス)	12名
		その他	ソーシャルアワー開催	11名







日本学生支部 支部長挨拶

AES日本学生支部 支部長 池田 翔（東京藝術大学）

AES日本学生支部 支部長の池田でございます。今年度より前支部長の森永さんから引き継ぎを受け、様々な活動に取り組んでまいりました。この場を借りてご挨拶させていただきます。普段より日本学生支部の活動において、日本支部の皆様がご協力いただき、心より感謝申し上げます。日本学生支部の活動を紹介する場を設けていただき、大変ありがたく思います。支部便りを通じて皆様に興味を持っていただければ、これ以上に嬉しいことはございません。今年度は、昨年度までオンラインで行われていた「若手・学生のためのAESジャパンフォーラム」を、東京工科大学のご協力のもと、現地で開催することができました。日本各地からの学生の参加があり、活発な議論が展開されました。印象的な点として、今年は制作系の発表が多く、特に3Dオーディオが大きなトピックを占めていたことが挙げられます。特別企画では、「インタラクティブオーディオの未来」と題しまして、参加者とパネリストが共に有意義なディスカッションを行うことができました。その他にも、Dolby Atmosの試聴など、現地開催のメリットを活かしたイベントになったと感じております。次年度以降も、本年度に見られた課題を克服し、より良い交流の機会を提供できるよう努力してまいります。本年もAES日本学生支部の活動へのご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



日本学生支部の活動について

AES日本学生支部

2023年度のAES日本学生支部は、東京藝術大学・東京工科大学・名古屋芸術大学・千葉工業大学・洗足学園音楽大学などの大学などに所属する学生運営メンバーを中心に活動を行ってまいりました。そして日本学生支部の主なイベントとして、11月に「若手・学生のためのAESジャパンフォーラム2023」を開催いたしました。昨年度までコロナの影響でオンライン開催でしたが、本年度は東京工科大学を会場として現地開催を実施することができました。イベントの内容について簡単にご紹介いたします。

Audio Engineering Society
AES Japan
Japan Student Center

2023.11.25 SAT 11:00~16:00
研究・成果発表ポスター発表

東京工科大学八王子キャンパス

若手・学生のための
AESジャパンフォーラム
AES Japan Forum for Beginners and Students

AES ジャパンフォーラムとは、音に関心を持つ日本の若手・学生たちが、普段の研究や制作などの成果を発表し、参加者の皆様と意見交換をするイベントです。今年は、東京工科大学を会場に対面開催となります。

発表者・一般参加者ともに
参加費無料

要事前申込み

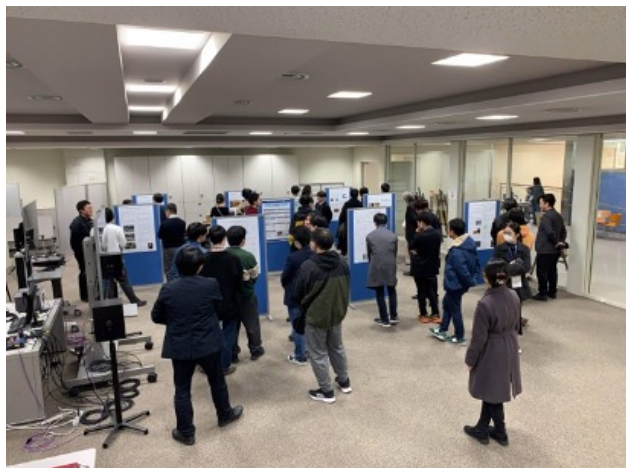
日本各地から
ご参加お待ちしております！
お申込み・詳細はこちらから

主催: AES日本学生支部 協力: AES日本支部
お問い合わせ: aesjapanstudent@gmail.com (AES日本学生支部)

《若手・学生のためのAESジャパンフォーラム2023》

研究発表および成果発表は、東京藝術大学・名古屋芸術大学・東京工科大学・洗足学園音楽大学などの日本各地の大学から合計9件の申し込みをいただきました。

フォーラムの企画および運営は、特設サイトの構築から特別企画の構想まで、主に日本学生支部のメンバーが中心となって行いました。また、フォーラムの実現に向けて、日本支部の皆様にも積極的にご協力いただき、学生単独では難しい部分に対しても協力をいただきました。この機会を借りて、ご協力いただいた日本支部の皆様には深く感謝申し上げます。



・研究成果発表

発表資料は特設サイトに前日から閲覧できるようにし、当日会場では、ポスターを自由に閲覧し、ディスカッションが自由にできるようにしました。ポスター会場にステレオとバイノーラル、別会場にDolby Atmosの再生環境を用意し、発表で使用された音源の再生もできるようにいたしました。本年度は発表件数が少なかったこともあり、9件の発表を2時間半のセッションを設けて実施いたしました。終了間際まで活発な議論が見られ、とても充実したイベントになりました。



・特別企画

今年度の特別企画は「インタラクティブオーディオの未来」という題でディスカッションを行いました。プレゼンターとして運営委員から東京藝術大学の池田、東京工科大学の三浦が参加し、さらに特別ゲストとして伊藤彰教先生をお招きしました。近年、ゲームオーディオや配信などでオーディオ技術の中でも重要になってきているインタラクティブオーディオについて、東京藝術大学と東京工科大学の事例を挙げて学生の動向を紹介し、その後にそれぞれのトピックについてお話を掘り下げる形でディスカッションを行いました。学生や参加者の方からもたくさんの質問があり、有意義な企画になったと考えています。来年度の4月に開催が予定されているAudio for Gamesのカンファレンスとの関連もあり、興味深い機会になりました。

・まとめ

「若手・学生のためのAESジャパンフォーラム」は3年ぶりの対面開催を実施することができました。特別企画は昨年度から始まったものですが、学生目線での制作を共有するいい機会になったのではないかと考えています。次年度以降にも活かしていきたいと考えています。

しかし、久しぶりの対面開催にあたって反省点や今後の課題も多くありました。現在の運営メンバーはオンラインになってからのフォーラムの経験しかなく、運営の違いによるトラブルもありました。また、運営メンバーの人数が少なくなっているため、さらに日本の学生に声をかけていきたいと考えています。

最後に、協力していただいた日本支部の皆様、会場としてご協力いただいた東京工科大学の皆様に、この場を借りて御礼申し上げます。

AES日本支部 70周年記念パーティー 開催報告

AES日本支部長 星 和磨（日本大学）

70年前にだれがどこで集まったのか・・・「芝櫻田會館」（の近く）でまた集まる会
ができたらいいね、といった話からパーティーの企画が始まりました。この謎解きは内村
和嗣氏により小谷野進司氏のアシストもあって、場所がほぼ特定されました（後述）。さ
て前置きが長くなりましたが、都合により参加できなかった会員のみなさまにパーティー
の全容が伝わるよう概要を以下に記します。



写真1：パーティー会場に集まった会員のみなさま

70周年記念パーティーは、去る2023年10月15日の日曜日、東京プリンスホテル（東
京都港区芝公園）のサンフラワーホールにて、立食ビュッフェ形式で催されました。参加
者はちょうど100名でした。内訳は以下の通りです：会員：62名、学生会員23名、賛助
会員12名、来賓2名。また式次第は以下の通りです。

開会の辞（見上陽一郎）

支部長挨拶 AES 日本支部長（星和磨）

来賓祝辞

日本オーディオ協会（専務理事：末永 信一 様）

日本音響学会（会長：羽田 陽一 先生）

AES本部（president Bruce C. Olson/動画再生）

顕彰

AES Japan Award 2023（濱崎公男氏，由雄淳一氏，鈴木弘明氏）

AES Japan Award 2023 特別賞（故 朝倉昭氏）

乾杯（小谷野進司）～ 歓談 ～

学生支部による学校紹介

東京藝術大学，東京工科大学，洗足学園音楽大学，名古屋芸術大学，

千葉工業大学，音響芸術専門学校

未来へ繋ぐトークセッション（内村和嗣，佐藤えり沙，池田翔）

閉会の辞（河原一彦，亀川徹）

ヒストリカル展示：

パーティー会場に入ってすぐに目にとまるように設置されたのがAES日本支部70年表です。これまで70年間の活動をほぼ全て記録し，年表としてまとめられているのですが，そこに差し込まれる写真の数々がこれまでの記憶を鮮明に蘇らせます。そのためこの年表の前で立ち止まり，昔話に花を咲かしてしまう人の多いこと多いこと！なかなかパーティー会場の奥まで足が進みませんでした。年表をまとめてくださった土倉律子氏に感謝申し上げます。



写真2：ヒストリカル展示の様子

祝辞：

日本オーディオ協会専務理事の末次信一様，日本音響学会会長の羽田陽一先生に祝辞を賜りました。日本オーディオ協会とAES日本支部は実は根っこが一緒，いわば双子の兄弟であり，日本音響学会はその兄貴分にあたること，そしてこの3団体が力を合わせて次世代を担う若者に引き継いでいくことがこの分野の発展につながると再認識しました。

またAES本部 Presidentの Bruce C. Olson氏から動画で祝辞をいただきました。実はAES本部にとって今年が75周年，そして日本支部は本部設立からわずか5年後に発足，長らくAESの発展に寄与してきたことに対して感謝の意が表されました。



写真3：音響3団体の代表。

日本音響学会 会長 羽田陽一先生 (写真左)，
一社監事 小谷野進司氏(写真中左)， AES日本支部 支部長 星和磨氏 (写真中右)，
日本オーディオ協会 専務理事 末永信一氏 (写真右)

顕彰：

AESジャパンアワード2023を濱崎公男氏，由雄淳一氏，鈴木弘明氏に，また特別賞を故 朝倉昭氏に贈呈しました。濱崎氏は録音技術の発展に，由雄氏ならびに鈴木氏はオーディオ規格の発展に，朝倉氏は70年前の発足当時から永年にわたりAES日本支部に，それぞれ多大なる貢献されたことに対して顕彰させていただきました。濱崎氏，由雄氏から受賞コメントをいただくとともに，また由雄氏から故 朝倉氏のAESとの関わりをご紹介いただきました。また，司会の見上先生から欠席された鈴木弘明氏の受賞コメントを読み上げさせていただきました。



写真4：顕彰者と支部長，鈴木弘明氏（写真左，代理受理：重富千佳子氏），AES日本支部 支部長 星和磨氏（写真中左），由雄淳一氏（写真中右），濱崎公男氏（写真右）

未来へ繋ぐトークセッション：

内村和嗣氏，佐藤えり沙氏，池田翔氏の三氏から，AES日本支部，AES日本学生支部の歴史と，AESとご自身との関わりについて，スライドを交えながらご紹介いただきました。

まずは内村和嗣氏が語る「AES日本支部発足の真相」。芝区櫻田とは現在の内幸町付近であり，当時NHKが内幸町にあったこと，さらに当時の写真からから，芝櫻田会館はこのほぼこのビルであろうというところまで突き止めたとのこと。その当時の様子やAES会員の日本人第一号はSONY創業者の一人である井深大氏であることなどをご紹介いただきました。

引き続いて，三氏によるAESとの出会い，AESに期待することなどを，スライドを交えて紹介いただきました。佐藤えり沙氏は第3代AES日本学生支部長，池田翔氏は現学生部長ということもあり学生視点からAESに期待する（していた）ことなどについて語ってくださいました。また特にAES日本支部で出会う人々と，またさらにAESコンベンションで会う世界中の人々と情報交換できることがAESの最大の魅力であると，三氏が共通して述べていたことが印象に残りました。

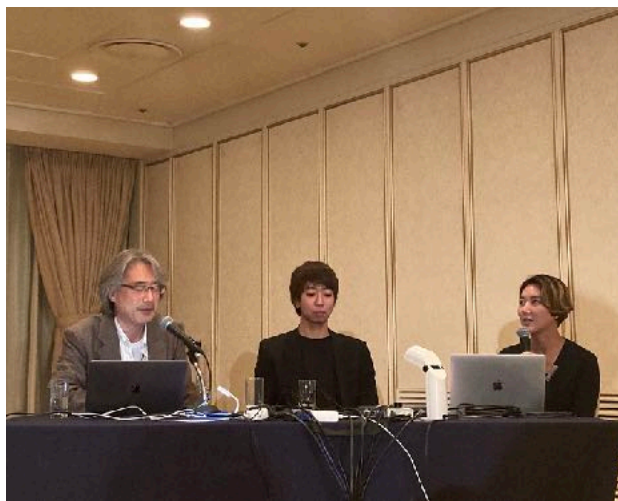


写真5：トークセッション登壇者（左：内村和嗣氏，中：池田翔氏，右：佐藤えり沙氏）



写真6：AES日本支部発足当時の写真

学生支部による学校紹介：

AES日本学生支部に所属する学生が普段どのような環境で何を学んでいるのか、学生目線で紹介いただきました。昨今の多くの大学では立体音響の録音・制作環境が整っていることに驚かれています方が多くいらっしゃいました。このような環境で育つ彼らが業界で活躍する日もそう遠くはないでしょう。



写真7：学校紹介の様子

閉会の辞：

AES本部の現Regional Vice Presidentの河原一彦先生，またRegional VP, Governorなどを歴任された亀川徹先生にご挨拶いただきました。亀川先生からは，AES日本支部が今後の会員増となるような方策を考えましょうとご提言いただきました。

記念品：

70周年記念ロゴが印刷されたトートバッグを制作し，参加者のみなさまへ配布しました。小さすぎずかつ大きすぎない，ジャストサイズなバッグですから，みなさまに常用していただけていると想像します。ロゴについて尋ねられましたら是非AES日本支部の魅力について語ってください！



写真8：記念品のトートバッグ（2色バージョン）

会を終えて：

70周年記念パーティーを企画するにあたって，私はコロナ禍を経てみなが集うこと”get together again”を第一義にすえました。ただただ集まれと言われても・・・と思った方もいらっしゃるかと思いますが，これまでの歴史を振り返りながら，若手も迎えて語ることが今後の活動の第一歩となればとの思いからです。次は5年後の75周年，もしくは10年後の80周年となりますが，そのときにまたみなさんと多くを語りたいたいと思っています。引き続きAES日本支部の各種イベントご参加くださいますようお願い申し上げます。



写真9：パーティーに集まったみなさまと

編集後記

AES日本支部・日本学生支部便り 2023年 冬号をお読みいただき、ありがとうございます。AES日本学生支部との共同発行という形をとらせていただいて4年目になります。執筆者のみなさまをはじめ、ご協力くださった方々に感謝申し上げます。

今年は多くの対面イベントやソーシャルアワーが復活しました。ひさしぶりの運営に戸惑うこともありましたが直接お会いしてお話しをする機会に勝るものはないと改めて感じました。また2024年は4月に国際コンファレンス『6th International Conference on Audio for Games: Interactive Audio Innovation, Rediscovering the Heritage』が東京で開催されます。5年ぶりの国際コンファレンスになりますので、ご興味のある方はぜひご参加ください。

日本支部主催イベントのお知らせはHPだけでなく各種SNSからも発信しております。これを機にフォローいただけますと幸いです。本年もみなさまにとって佳い年となりますことをお祈り申し上げます。

Facebook: <https://www.facebook.com/AESJapan>
Twitter: <https://twitter.com/aesjapan>
Instagram: <https://www.instagram.com/aesjapan/>

AES日本支部 広報担当